

# 世界とつながり 交流するまち 長崎

プレゼンテーション

生活情報

健康

子育て

福祉

被爆者援護

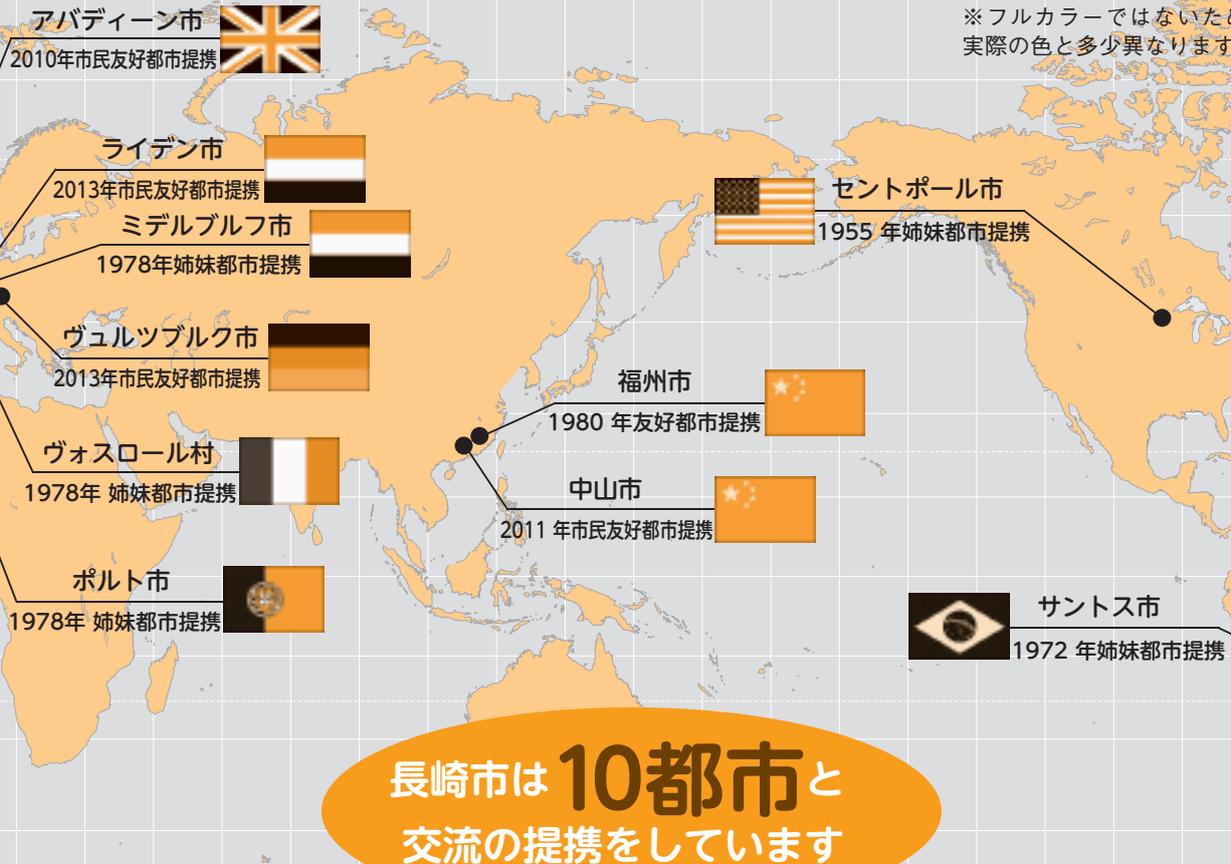
講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

※フルカラーではないため、国旗の色は実際の色と多少異なります。



長崎は古くから出島などを通じた海外との交流によって、さまざまな国とのつながりを深めてきました。

この歴史的な背景などをもとに長崎市は、これまで6つの都市と姉妹(友好)都市提携をしてきましたが、今年、そのうち3つの都市と提携35周年を迎えます。また、市民友好都市(5ページ参照)として4つの都市と提携をしています。

このような中で、行政での都市間交流にとどまらず、市民の皆さんの間での海外交流や、さまざまな国から来ている外国人との日常的な交流もいろいろな形でなされています。

でも、そんな国際都市長崎に住んでいながら、「国際交流? 日常で感じるものが少ないな～」と思うかたもいるかもしれません。今回の特集で、長崎の国際交流事情をちょっと覗いてみましょう。もしかしたら、興味がわくものが見つかるかもしれませんよ!

国際課 (☎ 829-1113)

# 姉妹(友好)都市って、どんなまち?

姉妹(友好)都市提携とは、都市間での友好親善と文化交流などを目的にした提携のこと。実は、日本で初めて姉妹都市提携を結んだのは長崎市なんです！知ってましたか？では、それぞれの都市について見てみましょう。



## 江戸時代からのつながり

江戸時代に出島へ向かったオランダ船の母港というつながりから提携をしました。

2009年には、ミデルブルフ市民が参加して作成された世界一長い刺繍が長崎歴史文化博物館で展示されました。



絆は大事ですね。

セントポール市は、教会がまちの中にとけ込んでいる雰囲気などが、長崎のまちにどことなく似ていますね。初めてこのまちを訪問したとき、セントポールの姉妹都市委員会のかたに、絆について熱く語っていただいたことが思い出深いです。また、同市で平和祈念式典を開いていただくなど、平和への思いも共有しています。

長崎・セントポール  
姉妹都市委員会  
会長 宮西 隆幸さん

## 日本初の姉妹都市提携

日本初の姉妹都市として1955年に提携。1992年に平和公園へ平和モニュメントの寄贈を受けました。市民同士の交流も活発で姉妹都市委員会の活動のほか、両市のロータリークラブからは昨年、「平和のビジョン像」の寄贈を受け、平野町に設置しました。



## 子どもゆめ体験で交流

長崎市に住む華僑のかたの多くは福州市の出身です。水産や水道の分野で職員を相互に派遣し技術交流をしています。

昨年は、長崎市の「子どもゆめ体験」事業で中学生を福州市に派遣し、現地の学生と交流を行い、相互理解を図ることができました。



## サッカー・路面電車で絆を確認

長崎と同時期にポルトガル船の来航で開かれたまちで、「サッカーの王様」ペレが所属していたチーム、サントスFCの本拠地として有名です。

昨年は、提携40周年を機にサントス市を訪問し、子どもたちがサッカー交流で親睦を深めました。来年には、路面電車を寄贈し、長崎の電車がサントスの街を走る予定です。



特集

市政

長崎市民

ブレイク・プレゼン

生活情報

健康

子育て

福祉

被爆者援護

講演講座

もよおし

おしらせ

募集



(ポルトガル)  
ポルト市

提携  
35周年

## ジャパンウィークに参加

江戸時代に出島へ向かったポルトガル船の母港というつながりから提携をしました。

2010年には、日本の文化を紹介するイベント「ジャパンウィーク」が開催され、長崎の写真展を開催するとともに、長崎東高の吹奏楽部や長崎生け花連盟の方々などが参加しました。



(こんにちは!)  
Boa tarde!



長崎に来ておよそ3カ月になりますが、これまでたくさんのかたから温かいおもてなしを受けたり、ポルトガルと縁のある場所を訪れたりしました。11月には、ポルトへ戻りますが、長崎での経験をより多くの人に伝えていきたいと思います。

自治体職員協力交流事業のためにやってきた、ポルト市職員のラケル・ルスさん。現在、長崎市国際課に勤務しています。



(フランス)  
ヴォスロール村

提携  
35周年

## 外海を救った ド・ロ神父がルーツ

外海地区の人々を救済するため、私財を投げ打って社会福祉事業に貢献したマルコ・マリ・ド・ロ神父の出身地。出津教会やド・ロ神父記念館、旧出津救助院に当時の足跡を見ることができます。

東日本大震災の時は、村の人々が義援金を長崎市を通じて被災地に贈るなど、神父の「人類愛の精神」が根づいています。



みんな優しくだよ。



のどかな田園が広がるヴォスロール村には、おらかな人が多いです。姉妹都市委員会では個人で村を訪れる人がいるほど、仲良くしています。私が村長の家にホームステイした時、その家が「ド・ロ神父の生家」だと知り、外海とのつながりを感じましたね。

長崎外海・ヴォスロール  
姉妹都市委員会  
会長 日宇 英之さん

## 市民友好都市

市民友好都市とは、「姉妹都市提携などの形式にとらわれずに、自由、気軽に付き合え、市民や民間交流団体が主体となって交流を行う」ことを、お互いが確認した都市のことです。

歴史・文化・経済など何らかの分野で交流があり、今後の促進が期待できることを要件としています。アバディーン市をはじめとする4市とは、交換留学生の相互派遣など市民・大学間での交流が行われています。



アバディーン市 (イギリス)



中山市 (中国)



ライデン市 (オランダ)



ヴェルツブルク市 (ドイツ)

# 広がる 交流の輪

長崎市内では、さまざまな団体が、さまざまな形で国際交流をしています。そして、皆さんは、お互いを尊重することをとても大切にしています。

今回は、今年4月に市政功労表彰をお贈りした2団体をご紹介します。

## 留学生の家族を 笑顔で支えています

「西町国際クラブ」は、長崎で暮らす留学生を主とする外国人家族の生活支援をしています。例えば、バスの乗り方や子育ての相談、施設での通訳など、支援は多岐にわたります。「留学生の家族が安心して生活できることが、ひいては留学生の支援になれば、この思いで活動をしています」と、笑顔で語るメンバーの皆さん。定例会は毎週水曜日、主に長崎大学国際交流会館（西町）で行われます。ここでは、生活相談のほか、言葉の勉強や、手芸、親睦会などもあ

## 心安らぐ交流の場

り、今では交流の場にもなっているそうです。

9月4日は、「ふろしきの使い方」を紹介。メンバーの田北さんを中心に、瓶や本の包み方などを手際よく留学生の奥さんに教えます。

「このふろしきは小さかね〜」「帽子ばみんなで作ろうか〜」と、楽しい会話が飛び交います。留学生の奥さんもリラックスした様子です。

定例会では、留学生の家族から、異国の文化について教えてもらうこともしばしば。いろんな国のお洒落の仕方や、伝統料理の作り方など、クラブの皆さんも興味津々で聞き入っているそうです。

## 活動は「コッコッと」!

このクラブには、支援を基礎に、交流でお互いに元気を分け合うという、とても良い関係が築かれています。今後について、代表の森永さんは「留学生の日本滞在期間は長くて5年ほど。その間に、家族の皆さんが、生活していく自信をつけて巣立ってほしいですね。誰にでも同じような支援ができるように、私たちも、コッコッと活動を続けま〜す」。笑顔で語るその表情に、このクラブの優しさを感じました。



「ふろしきの使い方」講座

## 西町国際クラブ



ふろしきを使って瓶を包みます。左から二人目が代表の森永さん。



みんなで集合写真。子どもを連れてきた方もいます。みんな満面の笑顔です!

ケニアからやってきたハリマさん（右）とジョセフィンさん。「このクラブではいろんな相談ができるので助かります。たくさんの人とおしゃべりもできるので楽しいですよ」





日本舞踊



アンクルン

地球館「ワールドフーズレストラン」  
※取材日はインドネシア料理でした！

## 長崎「国際交流塾」

思い思いに交流を  
楽しんでいきます

皆さんは東山手に、「地球館」という施設があるのをご存じでしょうか？ここでは、毎週末に世界各国の料理を日替わりで味わうことができます。もちろんシェフはその国のかたで、楽しい会話つき。そして、その運営をしているのが、「長崎『国際交流塾』」です。

この塾ができた経緯について、「みなとまつりで、世界各国の料理を提供する店を出したのがきっかけです。同じ目標を持って活動する方が仲良くなれると思い、留学生を誘って出店しました」と、代表の牛嶋さんは当時は振り返ります。そしてみなとまつり終了後、「交流をもっと深めたい！」と、メンバーが各自自主的に班を作り、活動するようになりました。

現在、塾の班の数は8つ。卓球や日本舞踊、アンクルン(インドネシア伝統楽器)、スクラブル(ローマ字をクロスワードのように合わせて単語を作るゲーム)など、さまざまな分野で交流しています。時には、班同士で交流会も行われているそうです。

### 国際交流は日常の「コマ

スクラブルの班長で、インドからやってきたスガンディーさんは

「ゲームをしながら家事のことを話す時間が楽しいね」とこり。すると班の皆さんは「彼女の料理はとても美味しいんですよ。優しくてとてもいい人！」と返してくれました。

この塾のかたたちは、一様にこの交流を生活の一部として楽しんでいきます。国際交流は「非日常」として考えられがちですが、国際交流を「もっと気楽に楽しんで」というメッセージを私たちに伝えてくれます。



### 《興味があるかたは下記へご連絡ください》

- 長崎・セントポール姉妹都市委員会 (☎ 842-3783)
  - 長崎外海・ヴォスロール姉妹都市委員会 (☎ 0959-25-0575)
  - 西町国際クラブ (☎ 856-6838)
  - 長崎「国際交流塾」(☎ 822-7966)
- その他にもたくさんの国際交流団体があります。  
詳しくは、市ホームページ内で [国際交流団体](#) [検索](#)

- 東山手「地球館」(☎ 822-7966)  
開館：10:00～17:00(火・水曜日休館)  
※ワールドフーズレストランは土・日・祝の12:00～15:00

# あなたも「国際交流」してみませんか？

海外でも長崎市内でも、さまざまな国際交流が行われていて、どの交流も長崎のまちと人を元気にする大きな力となっています。そして、交流をしている皆さんはとてもいきいきとしています。あなたも身近なところから国際交流をしてみませんか。

## 11/3 (祝)

10:00～18:00

### 姉妹都市提携 35 周年記念イベント

【場 所】 JR 長崎駅かもめ広場

【内 容】 ポルトガルギター演奏・小中学校ブラスバンド演奏・ボサノヴァ・アフリカダンスなどのステージイベント、菓子や酒などの物品販売、菓子作りや各国の遊びなどの体験コーナー、クイズラリー、写真パネル展示、国際交流団体の活動紹介・留学生のブースなど

### 写真パネル展

姉妹都市提携 35 周年を迎えるポルト市、ミデルブルフ市、ヴォスロール村の写真パネルを展示します。

【期 間】 10月2日(水)～27日(日)

【場 所】 市立図書館

## 国際交流員の

## 国際理解講座

国際交流員が出身国の文化や生活習慣などについて、日本語で紹介します。

	テーマ	日時	講師
韓国	日本と韓国のちょっとした違い	10月16日(水) 18:30～19:30	ソン ビョンチョン 宋 炳天
イギリス	Nice to meet you 長崎	10月23日(水) 18:30～19:30	スクラー セーラ
中国	中国の不動産事情	10月29日(火) 18:30～19:30	リン シンタイ 林 心泰

【場 所】 長崎ブリックホール

【費 用】 無料

【申込方法】 地球市民ひろばに電話（☎ 842-3783）かファクス（FAX 842-3786）でお申し込みください。当日参加もできます。

【そ の 他】 11月以降の講座は広報ながさきなどでお知らせします。出前講座もあります。詳しくは国際課（☎ 829-1113）へ。

私たちが  
紹介します♪

宋さん

林さん



スクラールさん

## 国際ボランティア参加者募集！

国際交流のボランティア活動を通して、外国のかたとふれあってみませんか？詳しくは、国際課（☎ 829-1113）へ。

### ● 企画ボランティア

【内 容】 子どもたちが外国人と交流できる「KIDS' 国際ひろば」や在在外国人を対象とした「日本料理教室」などのさまざまなイベントを企画して実施します。

### ● 通訳ボランティア

【内 容】 市役所窓口での在在外国人への通訳や、クルーズ客船の寄港時に観光案内などを行います。

### ● 日本語講座ボランティア

【内 容】 在在外国人に、生活に必要な初級の日本語日常会話の指導をテキストを使用して行います。



企画ボランティア



通訳ボランティア



日本語講座ボランティア